

# ちかみらい通信 ~液状化に強いまちを目指して~

熊本市では、近見地区において「宅地液状化防止事業」を進めています。事業について広く市民の皆様にご覧いただくため、熊本市宅地液状化防止事業情報誌として「ちかみらい通信」を進捗にあわせて発行し、情報の共有に努めております。

## 皆様からの質問とその回答のコーナー

ここでは、シンポジウムや会議などで皆様からいただいた質問とその回答をご紹介します。(質問と答えの番号は、前号からの通し番号です。)

**問3**：再び熊本地震と同程度の地震が発生した場合、地下水位低下工法の実施の有無によって液状化被害の程度に差はあるのか。

**答3**：地盤の特性や建物の重さなどにも起因するので一概には言えませんが、地下水位低下工法を実施していれば、過去の被害事例から明らかに液状化被害のリスクを下げられることが期待できます。

遮水鋼矢板(しゃすいこうやいた)  
 ○道路に遮水鋼矢板を設置し、区域を囲みます。  
 ○遮水鋼矢板により、地下水が区域内に流入しにくくします。



地下水位低下工法イメージ図

非液状化層(ひえきじょうかそう)  
 ○地下水位を地面から3m程度の深さまで低下させることにより、液状化しない層(非液状化層)をつくります。  
 ○これにより、地表面での液状化被害を抑制、軽減できます。

**【宅地への支援制度】 ●熊本市宅地復旧支援事業**  
 この事業では、「宅地地盤復旧工事」、「家屋傾斜修復」、「新築・既存の地盤改良工事」の助成金制度により被災者の方々へ支援を行っております。詳しくは、下記問合せ先まで。

**【問合せ先】 ◇熊本市 震災宅地対策課**  
 熊本市中央区花畑町10-34 熊本花畑ビル3階 TEL:096-328-2966  
 mail: [shinsaitakuchi@city.kumamoto.lg.jp](mailto:shinsaitakuchi@city.kumamoto.lg.jp)